

情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）
（多施設共同研究用）

西暦 2017年 6月 28日作成

研究課題名	重症心身障害児（者）における誤嚥防止術後の気管腕頭動脈瘻に関する検討
研究の対象	2006年7月から2016年8月までの約10年間で横浜市立大学附属病院および横浜市立大学附属市民総合医療センター耳鼻咽喉科において喉頭気管分離術・喉頭摘出術を施行された重症心身障害児（者）の方
研究目的・方法	喉頭気管分離術・喉頭摘出術後の重篤な合併症である気管腕頭動脈瘻について、そのリスク因子を検討することを目的とする。方法は、術後カニューレ留置を必要とし、気管内出血の合併症が生じた群、術後カニューレ留置を必要とし、気管内出血の合併症が生じなかった群、術後カニューレ留置を必要とせず、気管内出血の合併症が生じなかった群に分類し、この3群間で術前の気管前後径、胸郭前後径、側弯コブ角を検討する。
研究期間	西暦 2017年 8月 9日～ 西暦2018年 8月 8日（1年間）
研究に用いる試料・情報の種類	性別、手術時年齢、術式、誤嚥防止術前の気管切開の有無、原疾患、術後カニューレ留置の有無、気管腕頭動脈瘻を含めた術後合併症の有無と経過、術前の気管前後径、胸郭前後径、側弯コブ角
外部への試料・情報の提供	横浜市立大学附属病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科へ上記の研究に用いる情報の種類の項にある内容を提供します。提供時には、個人情報に含まれないようにし、提供するデータにはパスワードをかけた状態にして渡します。横浜市立大学附属病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科では、研究終了について報告された日から5年間を経過した日又は当該研究の結果の公表について報告をした日から3年間を経過した日または遅い日までの期間、特定の関係者以外がアクセスできない状態にし、研究責任者の責任の下で個人情報等について厳重に保管・管理します。
外部からの試料・情報の取得と保管	横浜市立大学附属市民総合医療センター 耳鼻咽喉科で外部から収集する試料・情報はありません。
研究組織	主たる研究機関かつ情報提供を受ける機関および責任者 横浜市立大学附属病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 森下 大樹 共同研究機関かつ情報提供を行う機関および責任者 横浜市立大学附属市民総合医療センター 耳鼻咽喉科 小松 正規

情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（多施設共同研究用）

本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話またはFAXでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒232-0024 （所在地）神奈川県横浜市南区浦舟町 4-57

（所属機関）横浜市立大学附属市民総合医療センター 耳鼻咽喉科

（研究責任者）小松 正規

電話番号：045-261-5656（代表） FAX：045-231-1846